

様式第4号(第5条関係)

令和5年 9月 3日

菊池市議会議員

様

議員名 平直樹

令和4年度 政 務 活 動 費 収 支 報 告 書

菊池市議会政務活動費の交付に関する条例第6条の規定により、次のとおり政務活動費収支報告書を提出します。

1 収入

政務活動費 240,000 円

2 支出

(単位 円)

項 目	金 額	備 考
会議研修費	75,600-	第17回全国市議会議員会 研究旅行 in 長野
調査研究費		
資料作成費		
資料購入費		
広報費	200,750-	議会活動広報誌 P. 31号、32号
広聴費		
人件費		
事務所費		
要請・陳情活動費	55,000-	農業政策に関する要望書提出
合計	331,360-	

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

3 残額

0

円(支出が収入を上回る場合は0を記入)



会議研修費 75,610.円

領収証

平 直樹 様		No. _____
金額	¥ 47,800 -	収入 印紙
内訳	但 ハンズメイド	
現金	2022年 10月 16日 上記正に領収いたしました	係印
小切手		
手形		
消費税額等(%)		
〒861-1351 熊本県菊池市七城町砂田1497-1 株式会社 九州セブン 観光バス 代表取締役 坂 本 元 隆 TEL 0968-25-5177 FAX 0968-25-5513		
コクヨ ウケ-600		

領 収 証

平 様

2022年10月20日

金1,470円

ただし、乗車券類代
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

印紙税申告納
付につき波谷
税務署承認済

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
02 No.000007

領収書 No. 20
急行 No. 250
440101 領 収 書
平 様

金額 金 額
¥ 8,340円
[消費税等込み]
但し、乗車券類(クレジットカード払い)として

2022年10月19日
東海旅客鉄道株式会社

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

東京駅
現金出納社員

9409-W000417-2127

第17回全国市議会議長会研究フォーラム in 長野

令和4年9月27日

平 直樹 様

参加費の代行収受

第17回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員

委員長 清水 富

東京都千代田区平河町2-4



第17回全国市議会議長会研究フォーラムの参加費の代行収受につきまして
は、東武トップツアーズ株式会社に業務委託（委任）しておりますので、お手
数をおかけいたしますが、下記の銀行口座に振り込みをお願いいたします。

記

1. 振込先銀行 みずほ銀行 東武支店
 当座 7950780
2. 口座名義 東武トップツアーズ株式会社

※振込人の頭に 9409 を入力してお振込み下さい。

※参加費は1人につき 9,000 円となります。

9409-W000417-2127

第17回全国市議会議長会研究フォーラム in 長野

令和4年9月27日

平 直樹 様

参加費請求書

第17回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 清水 富

東京都千代田区平河町2-4



金 9,000 円

第17回全国市議会議長会研究フォーラム in 長野の参加費として

令和4年10月19日・20日開催（長野市）

W000417

第17回全国市議会議長会研究フォーラム in 長野

令和4年11月2日

平 直樹 様

参加費領収書

第17回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 清水 富

東京都千代田区平河町2-4-



金 9,000 円

第17回全国市議会議長会研究フォーラム in 長野の参加費として

令和4年10月19日・20日開催（長野市）

平 直樹

9409-W000417-P002127

第17回全国市議会議長会研究フォーラム in 長野

令和4年9月27日

平 直樹 様

宿泊費請求書

東武トップツアーズ観光公庁事業部

第4営業部長 村 井 良 子

東京都新宿区西新宿7-5-25

金 9,000 円

第17回全国市議会議長会研究フォーラム in 長野の宿泊費として

令和4年10月19日・20日開催（長野市）

1. 振込先銀行 みずほ銀行 東武支店
当座 7950780
2. 口座名義 東武トップツアーズ株式会社

※振込人の頭に 9409 を入力してお振込み下さい。

※宿泊費は1人1泊につき 9,000 円となります。

W000417

第17回全国市議会議長会研究フォーラムin長野

令和4年11月2日

平 直樹 様

宿泊費領収書

東武トップツアーズ(株)官公庁事業部

第4営業部長 村 井 良

東京都新宿区西新宿7-5-25

金 9,000 円

第17回全国市議会議長会研究フォーラムin長野

令和4年10月19日・20日開催(長野市)

但し

平 直樹

菊池市議会

平 直樹 様



上田駅前ロイヤルホテル

住 所 : 長野県上田市天神 1-2-31
Tel : 0268-27-5115
URL :
備 考 :

詳細		
宿泊日	ルームタイプ	付加情報
2022/10/19	シングル	朝食付



東武トップツアーズ(株)
官公庁事業部第4営業部
東京都新宿区西新宿7-5-25 西新宿プライムスクエア 16階
03-5348-2706
shigikai2022@tobutoptours.co.jp

◎実施期間：2022年10月18日(火)より 2泊 3日 ◎御一行 3名様

一、

日次	月 日	行程
1	10 / 18 (火)	12:25 (ANA) 19:05 熊本空港 → 羽田空港 12:55 (JAL利用) 14:30 かがやき505号 ホテル 東京駅 ■■■ 長野駅 ■■ (タクシーにて約10分) == 善光寺 (見学・昼食) ==
2	10 / 19 (水)	8:15 8:36 9:58 (タクシーにて10分) == 長野フォーラム == ホテル 13:00~
3	10 / 20 (木)	ホテル == 長野フォーラム == 長野駅 ■■■ 東京駅 ■■■ 浜松町 +++ 羽田空港 → 熊本空港 11:30/12:25 13:52/14:06 14:10/14:20 14:40 JAL 12:15 19:05 ANA 16:35 18:30
		[宿泊]

パ ス ！ R +++++ 私 鉄 ー 飛行機 ～ フェリー

広報費 200,750 円

1/3

請求書

261

2022 年 10 月 27 日

〒861-1331

熊本県菊池市隈府

平 直樹 様



代表取締役 原 周 平

〒861-1331 熊本県
TEL0968-25-4151 FAX0968-25-4154
取引銀行 / 肥後銀行 菊池支店(普通)84000

合 計	小 計	税 金
73,700	67,000	6,700

品 名	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
ASHIATO31号	5000	部		67,000	

領 収 証

4 年 10 月 27 日

平直樹

様

金額 ¥ 73,700-

但し ASHIATO 31号

上記のとおり領収致しました

印刷代	
消費税	
内 現金	
小 切 手	
記	

有限会社 コーハン舎印刷

代表取締役 原 周 平

〒861-1331 熊本県菊池市隈府897

TEL0968-25-4151

広報費 200,750 円

2/3

請求書

〒861-1331

熊本県菊池市隈府

平 直樹 様

2023 年 1 月 24 日

497



有限
会社

代表

〒861-1331 熊本県菊池市隈府897
TEL0968-25-4151
取引銀行 / 肥後銀行 菊池支店(普通)64000

合 計	小 計	税 金
73,700	67,000	6,700

品 名	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
ASHIATO32号	5000	部		67,000	

領 収 証

2023 年 1 月 30 日

平 直樹 様

金額 ￥ 73,700-

但し ASHIATO 32号

上記のとおり領収致しました

印刷代	
消費税	
内 現 金	
小 切 手	
振 込	

有限会社 コーハン舎印刷

代表取締役 原 周 平

〒861-1331 熊本県菊池市隈府897

TEL0968-25-4151(代)

広報費 200,750 円

3/3

領収証

平直樹 様

金額 75,667.5

内訳 平直樹 様へ 2013年10月24日 上記正に領収いたしました

現金 〇
小切手 〇
手形 〇

コーエイ株式会社
〒861-324 熊本県菊池市野間口338番地
代表取締役 平川隆男

消費税率 8%

2013.10.24

収入印紙

領収証

平直樹 様

金額 75,667.5

内訳 BE FREE 2013年10月24日 上記正に領収いたしました

現金 〇
小切手 〇
手形 〇

コーエイ株式会社
〒861-324 熊本県菊池市野間口338番地
代表取締役 平川隆男
TEL 0968-23-7100 FAX 0968-23-7071

消費税率 8%

2013.10.24

収入印紙

領収証		No. _____	
金額		平 直 樹 様	
		7 5 5 0 0 0 -	
内訳		但 5000円 研修費用として	
現金		昭和55年 1 月 16 日 上記正に領収いたしました	
小切手		〒861-1351 熊本県菊池市七城町砂田1497-1	
手形		株式会社 九州セブン観光サービス	
消費税額等 (%)		代表取締役 坂 本 正 隆	
ご当座 / 口座: 890		TEL 0968-25-5177 FAX 0968-20-5513	

熊本県知事登録旅行業第2-171号
株式会社九州セブン観光

〒861-1351 熊本県菊池市
七城町砂田1497-1

TEL:0968-25-5177 FAX:0968-25-5513
総合旅行業務取扱管理者: [redacted]

平 直樹 様

御請求書

下記の通り、ご請求申し上げます。

ご 請 求 内 訳		金 額
☐ 出発日	2023年01月24日 (火)	¥55,000
☐ 帰着日	2023年01月25日 (水)	
☐ 明 細		
バック代金 東京1泊2日		(¥55,000 X 1)

ご 請 求 額 ¥55,000

ご 入 金 額 ¥0

今回ご請求額 ¥55,000

担当者 [redacted]

- ☐ 振込先 : 肥後銀行 菊池支店 普通: 1597440
口座名: ㈱九州セブン観光バス 代表取締役 坂本正英
- ☐ ゆうちょ銀行: 記号 : 17160 番号: 21700501
口座名: ㈱九州セブン観光バス

お振込手数料はお客様ご負担にてお願い致します。

菊池市議会 経済対策を考える議員勉強会 次第 (案)

令和5年1月24日 14:00

於：参議院議員会館B1F「106会議室」

1. 開会 14:00

2. 講演 14:00～15:00 中小企業・小規模事業者支援策について

①中小企業庁経営支援部技術・経営革新課 課長補佐 栗田宗樹

「生産性革命推進事業、事業再構築補助金について」

②中小企業庁経営支援部経営支援課 課長補佐 山北和徳

「キャッシュレス決済の導入を含めたIT導入補助金の内容と活用事例」

③調整中

「資金繰り支援について」

④中小企業庁事業環境部取引課 課長補佐 塚本浩章

「価格転嫁対策について」

5. 質疑応答 15:00～15:30

経済対策を考える議員の勉強会、および 農業政策に関する要望書の提出 行程表

【日程】

1月24日（火）

- 8：20 熊本空港発（ANA642）
9：50 羽田空港着
10：30 電車にて移動《620円》
羽田空港～（京急空港線・都営浅草線）～新橋駅～（銀座線）～虎ノ門駅
13：00 経済産業省
『経済対策に関する勉強会』
16：00 虎ノ門駅～（銀座線）～溜池山王駅（翌日の国会議員会館の最寄駅）
- 宿 泊 赤坂エクセルホテル東急
※最終目的地～ホテルまでの交通費は請求しない。

1月25日（水）

- 8：55 赤坂エクセルホテル東急発
9：05 電車にて移動
赤坂見附駅～（銀座線）～溜池山王駅
※ホテル～前日の最終目的地までの交通費は請求しない。
9：30 国会議員会館
『農業政策に関する要望書の提出』
・坂本哲志 衆議院議員
・松村祥史 参議院議員
・藤木真也 参議院議員
・馬場成志 参議院議員
13：00 電車にて移動《620円》
溜池山王駅～（銀座線）～新橋駅～（都営浅草線・京急空港線）～羽田空港
14：55 羽田空港発（ANA645）
16：50 熊本空港着

衆議院議員 坂本哲志 殿

農業政策に関する要望書

令和5年1月25日

菊池市議会有志議員一同

日頃、菊池市議会の活動にご理解いただきありがとうございます。

菊池市は西日本最大級の畜産酪農地域であり、米や水田ごぼう、フルーツなどの生産も盛んであり、全国の自治体の中でも上位の農業生産額を誇っております。

しかし、ここ数年新型コロナウイルスの経済に対する影響が長期化し、加えてロシアのウクライナ侵略に伴う穀物やエネルギーが高騰するなど、農業を取り巻く状況が大変厳しくなっております。

現在、国が補助金や助成金などの緊急対策に取り組んでいただいておりますが、それでもなかなか持ち直しできない状況です。このままでは、離農する農家が増え、菊池市の基幹産業である農業が衰退してしまうのではないかと危惧しております。

そこで、菊池市議会有志議員で、JAを中心に農業者からの意見等をお聞きし、それらを次頁以降にまとめました。これからの農業政策について、農業者への更なる支援を賜りますよう要望申し上げます。

要望事項

【要望の背景】

1960年代まで70%を超えていた我が国の食料自給率は年々低下した後、近年は30%台後半で下げ止まっている。ただ、この数字には輸入頼みの化学肥料や種子が加味されておらず、実態としてはもっと低いと考えられている。化学肥料の原料はほぼ全量を中国やロシアに依存しており、今後は価格高騰どころか、供給自体が難しくなる可能性がある。今後、中堅規模の農家の廃業がさらに進み、資材の供給も止まると仮定して試算すると、2035年の実質的な食料自給率は酪農12%、コメ12%、青果物や畜産は1～4%になってしまうという数字も出ている。

国は、食料自給を担う農家が減り続けている現状に強い危機感を持ち、生産コストを適正に価格転嫁し、価格へ転嫁されたコストは国民皆で負担する意識を持つようにすべきである。フランスなどヨーロッパでは、農家を守るために、国が農業所得を補償している例もあり、参照して頂きたい。

低い自給率＝「命の危機」の認識を持ち、国民の命を守るため『食料こそ防衛の要』との考えにたち、食料自給率の底上げに向け、日本の農家が生産を継続できるような仕組みと消費者の理解を得られるようにしていくべきである。

【要望項目】

1 生産資材価格高騰対策等の継続・充実

肥料・飼料・燃料・電力等の生産資材価格の高騰・高止まりは長期化しており、農業経営に甚大な影響を与えているため、昨年措置された肥料高騰対策等の生産資材価格高騰に対する影響緩和対策の継続と拡充を行うこと。

2 生産資材の安定供給と輸入原料からの切り替え支援拡充

生産資材の安定供給の確保や輸入依存からの脱却に向け、肥料原料などの民間備蓄に対する支援や原料調達の多角化への支援を実施するとともに、粗飼料も含めた国産飼料増産体制の強化、広域流通・保管などへの支援を拡充すること。

3 適正な価格形成の実現と国民への理解醸成

生産資材価格が高騰するなか、持続可能な農業生産を高めるため流通事業者や消費者への理解等をすすめて、国内農畜産物の生産コストの転嫁など、再生産に配慮された適正な価格形成の実現に向けた仕組みの構築を行うこと。

また、食料の安定供給にかかるリスクの高まりや農業・農村の持つ多面的機能等について、国民の理解の醸成に向けた運動を早急に展開・強化すること。

4 食糧安全保障の強化に向けた基本政策の確立と予算の拡充

将来にわたる食料安定供給のため、食料生産に不可欠な人・農地・技術・生産資材等の安定供給や生産基盤の一層の強化と、食料・農業・農村基本法の検証・見直しを含め、食料安全保障を強化する基本計画を確立すること。

また、食料安全保障の強化に向けた予算を新たに確保し、農林水産関係全体の予算額を増額していくこと。

5 影響の長期化をふまえた新型コロナウイルス関連対策の継続

新型コロナウイルスの影響が長期化するなか、農畜産物価格の低迷や在庫の増加等が生じた場合には、「経営継続補助金」「高収益次期策支援交付金」等の事業実地を含め迅速かつ万全な対策を講じること。

6 農地の集積・集約化及び遊休農地対策の取り組みの強化

食料・農業・農村基本法で掲げる令和5年度達成目標の「全農地の8割を担い手に集積」について、条件不利地域においては農地集積が生産コストの削減に直結しない地域も多いため、対象地域については、地域の実情に応じた柔軟な設定をすること。

7 労働力確保対策

県内外の農繁期が異なる産地間で人材の融通が図られるよう、外国人材等の短期間労働者の雇い入れを行える環境作りや事務手続き等の簡素化を図るなど、支援策や緩和措置を講じること。

8 生産者向けの補助事業の要件緩和(全作物共通)

施設、機械、資材の取得価格が高騰しているため、単位当たりの補助金上限額の引き上げと補助率の上乗せを行うこと。

また、ポイント取得や採択(面積)要件、成果目標の緩和、実施期間の延長の見直しのほか、簡易ハウスの整備や機能向上のない施設の補改修及び老朽化ハウスの長寿命化を補助対象に拡大し、高騰する内部施設や生産資材の導入に対する負担軽減を図るなど、品目別に使い勝手の良い事業となるよう、要件の見直し・事業対象や予算確保の拡充を行うこと。

9 輸送コスト低減対策

労働基準法の改正により、2024 年以降、ドライバーの拘束時間の規制(物流業界 2024 問題)、標準運送約款の改正により、運賃上昇が懸念される。輸送コストの増加による農家手取りを防ぐため、物流課題解決対策を講じること。

10 農業用廃プラスチックの処理料高騰等への対策

農業用廃プラスチックの処理料が高騰していることから、その処理料や環境に配慮し労働力の省力化にもつながる安価な生分解性マルチ、バイオ PET 等の環境配慮型資材への切り替えへの助成、産業廃棄物処理施設の高度化等による処理方法の研究開発をすすめること。

11 有害鳥獣対策

野生イノシシやシカ等有害鳥獣は、豚熱や口蹄疫等の感染拡大リスクを伴う問題や農業生産物への被害・自然環境破壊・人的被害など大きな社会問題となっていることから、引き続きイノシシ、シカ、鳥類等個体削減に向けた総合的な有害鳥獣被害防止対策の強化を図ること。

12 担い手・新規就農支援の拡充

消防団活動等地域の安全と安心・自然環境を守る地域の中核となる担い手へのさらなる支援の拡充、初期投資を最大 1 千万円支援する経営発展支援事業は、親元就農も支援対象になっており、生産現場のニーズが多いため、十分な予算を確保すること。新規就農者だけでなく、親元就農者も地域の担い手の中心であり、親元就農者へも年 300 万円程度の助成を行うこと。

また、生産資材の高騰及び他産業との人材獲得競争により、新規就農者の確保が難しくなっているため、国の補助対象とならない者を新たに支援するなど、対策を強化すること。

13 農と商の連携強化

地域を作り・守り育てるためには、農と商の連携の必要性から農商一体的な支援の拡充を行うこと。特に菊池市のような地域は、商も一緒に成長していく必要があり、農と同規模の補助事業等を行っていくこと。

14 品目別対策

(1) 水田農業対策

水田活用の直接支払交付金の見直しについて、5 年間の水張りを行なわない農地を交付対象外とする要件については、飼料作物等の農業生産や中山間地域等の営農継続に影響を及ぼさないよう、地域や担い手の実態を踏まえた見直しをすること。

(2) 畜産・酪農対策

①子牛生産振興対策

「肉用子牛生産者補給金制度」において、地域の特性を考慮して制度の大幅な見直しや、素畜や飼料代等のコストを加算した制度を策定すること。

②酪農生産振興強化対策

酪農の安定に関する法律(畜安法)の改正に伴う生産流通の自由化によって、酪農業界に与えた影響(生乳需給の混乱と酪農経営の不安定を招く実態)について検証すること。

③配合飼料高騰対策

配合飼料価格の高騰・高止まりの収束が見通せない中、民間財源の枯渇も見据えた配合飼料価格安定制度の運用改善等を図るとともに、生産者負担の急増を回避するため、引き続き十分な影響緩和策を措置すること。

とりわけ、「配合飼料価格高騰緊急特別対策」の第4四半期(1月～3月)の補填金を予算化すること。

④畜産クラスター事業等

畜産クラスター事業の十分な予算確保を引き続き行うとともに、現行補正予算で措置されている同事業を本予算に組み込み恒久化と、基準事業の上限額引き上げ、生産目標緩和、簡易牛舎整備事業の範囲拡大、リース関係の保証料、動産総合保険料等の諸経費補助等を実施すること。

⑤畜産環境対策

推肥の広域流通体制を確立するため、運賃・耕種農家側のストックヤードや散布機械への助成措置金化、堆肥等の高品質化・広域的な流通のための堆肥センター・ペレット・混合肥料工場等の施設整備、作業の担い手確保対策への支援及び助成措置を講じるとともに耕種農家におけるニーズの把握とマッチングを行う事業を行う事業を構築すること。

⑥熊本県産食肉・酪農の理解促進・消費拡大対策

熊本県において、“もう一杯の牛乳を”というプラスワンプロジェクトの取り組みが実施されている中、国産消費と飲用牛乳の消費拡大・PR活動の更なる強化に取り組むこと。

また、和牛肉保管管理在庫支援緊急対策の更なる延長を講じること。

⑦貿易体制強化対策

家畜伝染病侵入防止のため、水際対策や豚熱及び高病原性鳥インフルエンザの感染拡大防止対策を引き続き徹底・強化すること。

また、和牛肉保管管理在庫支援緊急対策の更なる延長を講じること。

⑧肉用牛・酪農ヘルパー組織確立、要員確保

肉用牛ヘルパーについては、畜産農家の高齢化や規模拡大に伴い、必要不可欠となっており、肉用牛ヘルパーにおける組織整備に関して継続した支援を行うこと。

また、酪農ヘルパーの要員確保対策とともに傷病時利用における負担軽減措置の継続を行うこと。

ASHITA

あした

2022年9月議会 第31号

【政治目標】 政治をもっと近くに
【判断基準】 子どもたちが大きくなった時に
どうなのか

平なおき 議会・活動広報誌

思いが届く

熊本県下全域で学校給食の パンの材料全量国産に！

これまで、何度も一般質問を続けてきました学校給食について
その中でも、安心安全な給食を子どもたちに食べてもらいたい/との
思いで、県の学校給食会に申し入れをしてほしい旨の質問を重ねてき
ました。

令和4年9月13日付の熊日新聞の記事をはじめ、熊本の民放各社で
もそのことをニュースで報じていただきました。これも一重に県の学
校給食会やパン部会の皆様、尽力していただいた菊池市役所や県、そ
して前川県議のおかげです。本当にありがとうございます。

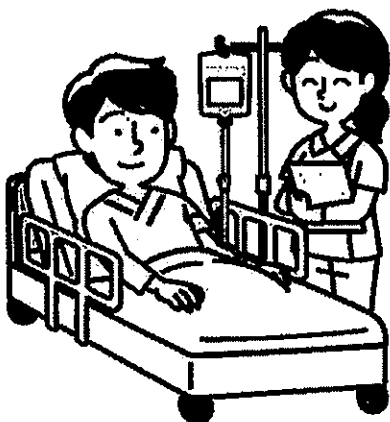


今回の補正予算から「骨髄ドナー患者」 に対しての補助金制度！

私は一度、議員になる前に骨髄ドナーになった経験があり、そのことを踏まえ、平成29年9月議
会の一般質問で「市として骨髄ドナーになる方の補助をすべきだ」とする一般質問をしていました。

その時はうまくいきませんでした。なんと今回、県が補助制度
を作られて、菊池市も一緒になって本事業が出来ました。県、市
ともに10万円の合計20万円の予算です。委員会審査で質疑を
して、今回は一人分の予算計上だけど、足りなかったら都度補正
予算を組むとのこと。

社会としてドナーを支える、背中を押せる環境になっていくこ
とが「癒しの里きくち」の実現に向けた大きな一歩だと思います。
志を同じにしていっていた市・県庁職員さんのおかげです。
ありがとうございます。



一般質問

有害鳥獣被害対策について

質問の目的 しっかりと予算をつけて対策を講じてもらいたい

特にイノシシとシカについての被害だが、農業被害だけでなく、住環境への影響も出てきている

報奨金要綱にそのこともうたいこむ改正をする考えは？

検討していく

本年度の菊池市の有害鳥獣捕獲

報奨金の予算額は416万円

山鹿市は1,480万円

天草市は4,460万円

増額すべきと思うがどうか？



現状維持で考えている。

ただ、シカについては森林環境贈与税の活用が可能なので、その分がイノシシに回すことができる

416万円の財源内訳は？

一般財源。

ただし、後に特別交付金の対象であり、実質3～4割の補填となる



■市/答弁 ■平/質問

有機農産地づくりの推進について

質問の目的 オーガニックビレッジ宣言をすべき



農林水産省がオーガニックビレッジ宣言をすると有機農産物を学校給食に使うための予算や、他都市での販売等の経費に使えるのか？使うことも可能だが、まずは計画を作る必要がある

今後、オーガニックビレッジ宣言の考えは？前向きに検討していく

ど報告

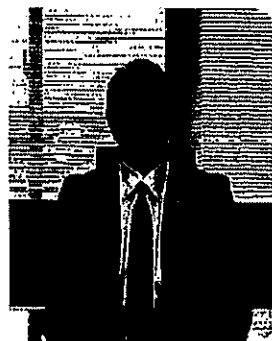
過日、無投票でしたが3期目の当選をさせていただきました。

そして、今期は副議長をさせて頂くこととなりました。

身に余る大役ですが、同期である「水上孝光新議長」の相棒役として、しっかりと頑張っていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

また、今議会において「政治倫理条例検討特別委員会委員長」に任命されました。

昨今、新聞紙面や広報等に記載されている政治倫理について本条例を検討していくという大切な委員長としても、全力で務めさせていただきます。



令和4年度 一般会計予算

議案第62号 令和4年度一般会計予算
歳入・歳出合計 … 285億4701万1千円

平/賛成 議会/可決

歳 出	
議 会 費 ……	2億 409万5千円
総 務 費 ……	31億1546万2千円
民 生 費 ……	108億3451万2千円
衛 生 費 ……	15億 860万6千円
農林水産業費 ……	17億9940万1千円
商 工 費 ……	10億8492万5千円
土 木 費 ……	25億7315万 千円
消 防 費 ……	10億 49万2千円
教 育 費 ……	27億9733万8千円
災害復旧費 ……	2835万 千円
公 債 費 ……	35億7986万5千円
予 備 費 ……	2000万 千円

令和3年度 特別会計決算

国民健康保険事業 …… 65億6751万2千円
後期高齢者医療事業 …… 6億3935万2千円



今議会は決算審査でした。例年3月議会で当初予算。つまり一年間のお金の使い道を決める議会です。それに対して半年後のこの9月議会は昨年度の決算ということで、予定に対しての最終結果を見ていくという形になります。そうしていくことで1年間のお金の流れや成果などを把握し、チェック機能としての機能を果たすということになります。私がここ数年気にしているポイントは「コロナ対策費」です。令和2年度はコロナ対策費だけで約51億円ありました。これは国民全員に一人10万円の給付があったからです。令和3年度のコロナ対策費は約25億円。単純にこの金額を歳出総額から引きますと約285億円

令和3年度 一般会計決算

議案第67号 令和3年度一般会計決算
歳出総額 … 310億3778万4千円
(内コロナ対策費 約25億)

平/賛成 議会/可決

歳出総額	
議 会 費 ……	1億9115万6千円 0.62%
総 務 費 ……	50億9491万9千円 16.42%
民 生 費 ……	110億6330万4千円 35.64%
衛 生 費 ……	17億6479万4千円 5.69%
農林水産業費 ……	18億1398万5千円 5.84%
商 工 費 ……	8億1657万4千円 2.63%
土 木 費 ……	23億9263万3千円 7.71%
消 防 費 ……	9億3059万3千円 3.0%
教 育 費 ……	31億7337万 千円 10.22%
災害復旧費 ……	1億9566万5千円 0.63%
公 債 費 ……	36億 78万6千円 11.6%
予 備 費 ……	0円
翌年度繰越総額 ……	15億6104万8千円

介護保険事業 …… 58億2491万0千円
水道事業 …… 11億4964万9千円
下水道事業 …… 28億4815万6千円

となります。この金額は財政課が示している中期財政計画の数字にほぼ該当しています。つまり、菊池市自身が中期計画的な財政運営を着実に進めているという一つの指針となります。これから本格的な少子高齢化社会になり、財政運営も厳しくなる中で着実な運営ができていていると見ています。▼これまでこのアシアトは、私一人でお配りしていました。ただ、今年46歳になる私は、公私ともに本当に忙しくさせて頂いております。お配りする方法にもこだわってきましたが、中々すべてを一人でやりきるのにも、時間的にも体力的にも厳しくなってきました。そこで、思い切って民間サービスを活用してお届けすることとしました。大切なのは、私の考えを知ってもらうことです。これからも「政治をもっと近くに」という目標達成のために、試行錯誤を続けながら頑張っていきます。

活動日誌はこちらでも見ることができます



菊池市 1020-0 TEL 0968-23-2845 mail@city.kikuchi.lg.jp

ASHIAI

市と市

2022年12月議会 第32号

【目標】 政治をもっと近くに
【基準】 子どもたちが大きくなった時に
どうなのか

救急車の適正利用について

広域連合議会とは、合志市・大津町・菊陽町・菊池市の4市町で構成されています。

私は、今期から、菊池市議会の代表としてこの議会に出席しています。消防など広域で取り組むことの連合事務のチェック機関としての議会です。

今回、一般質問をしてきましたが、なんでも、一般質問があったのは3年ぶりとのこと。

本地域で管理する救急車の出動件数と、不適正利用の数とそれに係る経費は？

という質問をさせて頂きました。

私が着目した点は、この不適正利用啓発の県ホームページのハッシュタグとして

#タクシー代わり #軽傷

と書いてある点でした。

県はテレビCMまで流しています。それくらい不適正使用が多いということ。

つまり、救える命が救えない可能性が高まってきた、ということです。

ちなみに昨年の救急車の出動回数は約8000回

その内、不適正利用と判断しているのは約300回

一回の出動に係る経費は概算の目安として約45,000円

つまり一年間で

45,000円×300回＝1,350万円

の経費が不必要に掛かっており、何よりそのタイミングで優先順位をつけにくい状況が生まれていたことが由々しき問題だと思えます。

日本の救急車の出動にはお金はかかりません。日本人のみならず、日本にいる人全員が無料とのこと。

これ自体は性善説に立っている素晴らしい考え方だと思いますが、こうまで不適正利用者が増えてくると、時代に合わせてルールも変えていくべきではないでしょうか？

と、提案してきました。

これから寒くなって、もしかしたら、私も救急車のお世話になる可能性もあります。

命を救うために、職員さんも救急車も存在します。身の危険を感じたら躊躇わずに119番してください。

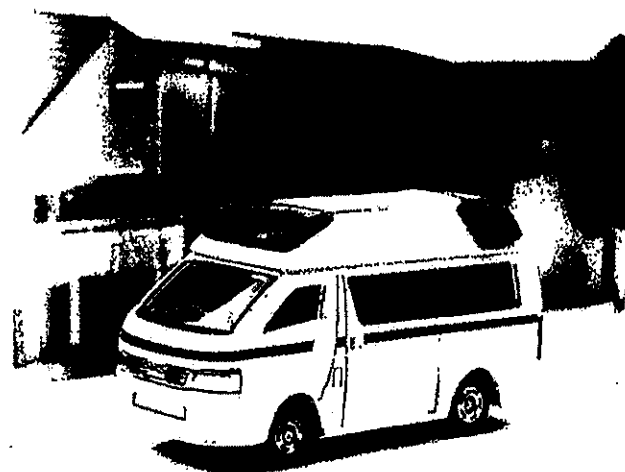
ただ、その一方で明らかに不必要とされる人が、分かっている利用されています。

今一度、その安易な利用が、誰かの命や生活を脅かすことに繋がらないか考えてほしいものです。

どうすべきか、通報してくだされればプロが対応してくれます。

どうぞよろしくお願いいたします。

また、いつも国民の身体、生命財産を守っていただいている、救急隊や消防の皆様にも改めて感謝申し上げます。



一 般 質 問

企業誘致について

■ 市／答弁 ■ 平／質問

質問の目的 ルールを改正して、優良企業を誘致したい
執行部の答え バランス・ゾーニング(区分け)を考えながら
スピード感をもって努めていきたい

菊池市の最高決定機関である菊池市議会は、国旗を掲げ、国歌斉唱をして始めるべきと考えています、議席番号11番の平 直樹です
通告に従いまして質問をいたします
TSMC関連で企業誘致に関して現状は？
本市の基幹産業である農業を守っていくために優良農地の保全是非常に重要
一方で、経済活性化及び雇用の確保のために企業誘致も欠かせない
企業誘致も進めるうえで、適地が農振農協地区域に指定された農地に含まれることが多く、農地転用が困難な場合、開発を断念されるケースもあっている
バランスが難しいということだと認識する
現在、本市にある企業誘致を進めるうえで、

優遇する各ルールで、対象外となる企業からの問い合わせは？
運送等の物流関係の企業様から2件あった物流関係を対象内とするルールは、御船町や八代市にある
本市も加えるためにルールの緩和や改正の考えは？
県内他市町村の動向や経済効果等を勘案し、判断していきたい
市長の考えは？
千載一遇のチャンスと捉え、虫食い状態にならないよう企業誘致、農地、住宅誘致などバランスの取れた開発につながるようゾーニングを考えながらスピード感をもって全力で努めていきたい

住宅政策について

質問の目的 住宅促進のための補助制度を作ってほしい
執行部の答え 現在作業部会を作り、対象地域と金額、対象件数等を検討しているところ

一年前に子育て世代を対象に、特定の地域に家を建てたら100万円、リフォームで最大50万円補助するという、菊陽町の定住促進補助金交付要綱を作り、若者を引き留め、また呼び込むことを提案し、調査研究するとのことだったが、どうなったか？
現在、作業部会を作り、対象地域と金額、対象

件数等を検討しているところ
市長の考えは？
住宅政策に関してもきちんとゾーニングを設計し、そこに民間の開発を募って、そこに一定の補助金を検討する
そういうアイデアで現在検討を進めている

令和4年度 一般会計予算

議案第96号 令和4年度一般会計補正予算
歳入・歳出合計 … 299億4939万7千円

平/賛成 議会/可決
(コロナ対策費 約23億円)



思 考 述

寒中お見舞い申し上げます。昨年は無投票ではありましたが、菊池市議会議員3期目となり、また副議長にも選んでいただき激動の一年でした。立場をいただくと、やはり少しずつ見えてくる景色も変化があるなあと感じて過ごしてきました。年を重ねるということは使う言葉やとる態度が変化していきますよね。変な話、味覚と同じような感じかも？って思っています。昔は苦手だったものが、ある日突然おいしく感じてみたり、逆に好きだった料理が重たく感じてしまうようになったり(笑)肉体的なものは勿論、精神的にも変化している自分を感じて戸惑うことが多いですが、それも自分だとキチンと受け入れて楽しんでいけばいいなと。今年はそんなことを小さな目標として一步一步足跡を残していこうと思います。本年もよろしくお願いいたします。▼もうすぐ三女の高校受験があります。我が家としては3回目の高校受験とはいえ、やはり家の中が「受験シーズン」だなと感じます(笑)3人の娘にいつも言っているのは「やりたいことは変わってもいい」「やりたいことがなくてもい

歳 出	
議 会 費	…… 2億 261万4千円
総 務 費	…… 34億8965万6千円
民 生 費	… 114億7384万5千円
衛 生 費	…… 16億 888万9千円
農林水産業費	…… 18億5680万2千円
商 工 費	…… 11億2452万9千円
土 木 費	…… 25億9905万6千円
消 防 費	…… 10億 748万1千円
教 育 費	…… 28億5981万2千円
災害復旧費	…… 1億2369万 円
公 債 費	…… 35億7302万3千円

い」ということです。自分自身が当時なんにも考えていませんでしたし(笑)正直、私が高校を卒業する時代というのはバブルがはじけ、かなり日本全体が暗くなり始めていた感じでした。その当時「夢を持って」という言葉が無責任と感じて悩んだ経験があります。夢を持っていないとダメだと言われている気がしていたからです。でもそんな事はないんです。夢を持つことは大切だけど、夢がないことは別に何にも悪いことじゃない。ましてや夢が変わったりすることは若いころには当然あることです。ただ、一度言ってしまったから言い出せない、なんてことで悩むことのほうが時間の無駄だと伝えています。でももし、今やりたいことがあるのならそれに向かって努力してほしいなと考えています。どうか、三女の未来に続く進路に進めたらいいなと思います。頑張れ三女!



活動日誌は、こちらでも見るができます



復命書

菊池市議会

議長 水上 隆光 様

菊池市議会

議員 平 直樹

件 名 第17回全国市議会議長会研究フォーラム

出張地 長野市ホクト文化ホール

出張期間 令和4年10月18日～令和4年10月20日

18日は移動日で初日である。19日はまず基調講演で株式会社日本共創プラットフォーム代表取締役社長の富山和彦氏に「コロナ後の地域経済」という公演を拝聴した。これまでグローバル化が進んできたが、グローバル化が進むと今回のような世界同時的な不況や不安といったことが連動してしまうということ。これまではコロナ渦で業績が不振だったが、これからウィズコロナの時代は人材不足で仕事に支障が出てくるだろうとのことでした。仕事がないこれまでと、仕事に戻ってくるであろうこれからの違いは、今までは二人や三人でやってきた仕事を一人でやらないといけなくなる。となれば、徹底的に業務の効率化を図る必要がある。そのためのツールとしてITを活用してく。またしていくことで業績は伸びていくであろうとのことでした。数字を冷静に見てみると東京一極集中といわれているが、東京は成長していないし、また伸び代が少ない。ところがデジタルDXが進んでいくこれからは地方こそ人的交流が大切だから地域へ他方からの人材を受け入れていくべきであり、一番心配される地域の文化の消滅や破壊は起こらない。といった点が非常に印象的でした。

第二部では「地方議会のデジタル化の現状・課題と将来の可能性」というお題でのパネルディスカッションが行われました。コーディネーターに毎日新聞社論説委員の「人羅 格」氏、パネリストに早稲田大学自治体研究所所長「岩崎 尚子」氏、東京大学先端科学研究中心長「牧原 出」氏、明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授「湯浅 壘道」氏、長野市議会議長「寺沢 さゆり」氏が登壇し、闊達な協議が行われました。何よりも大切なことは議会DXが進んでいくことの目的は「住民福祉の向上」であることが大切であるということでした。タブレットが配布された事やペーパーレス化が進んだことが大事なことでなく、IT機器を使ったデジタル化を進めることにより、結果市民のためになることが大切である。そこを見誤らぬよう進めるべきだという言葉が一番響きました。私は議会DXの結果は①政治・議会への関心の向上②若者を中心に投票率の向上という自分自身の政治目標と同じであり、ぜひ推進していきたいと感じました。目的と方法をき違えないように頑張りたいです。あと、全国のアナウンスを見るとタブレット等を使った委

員会へのリモート参加を可とする規則改正をしているのは全国で約 1 割。実施しているのが約 2 割との報告を受け、本市議会の積極性を改めて知りました。これは間違いなく事務局のアンテナの高さであり有難く感じています。

あと、湯浅氏の「議会個人情報保護条例」について、寺沢長野市議会議長の採決システムの導入、市民との意見交換会をオンラインで開催したことがとても勉強になりました。本市議会でも取り入れるべきと考えますので、これからさらに勉強していきたいと思います。特に議会への参加を促す、またその日のために採決システムは絶対に必要だと思いました。

最終日の 20 日は「地方議会のデジタル化の取り組み報告」という課題討議が行われました。コーディネーターに慶応義塾大学大学院システムデザインマネジメント研究科教授「谷口 尚子」氏を迎えパネリストに取手市議会議員「金澤 克仁」氏・可児市議会議員「板津 博之」氏・西脇市議会議員「林 晴信」氏が登壇され先進事例の報告をうかがうことが出来ました。

やはりここでも IT 化・デジタル化はあくまでもツールであり、目的は住民福祉の向上であるとの認識でした。委員会での現地視察は ZOOM で行ったら 10 分で済み職員の負担軽減につながったことや最近の IT 技術を使って会議録の視覚化ができること。(これはどの議員はどんなワードをよく使っているか一目でわかるもの) さらには市民との意見交換会の場をリモートで行う際に議場で行っていること、さらには一般質問において本会議場のモニターを使いデータを示し、より分かりやすい質問になるよう取り組んでいることなどが非常に勉強になりました。皆さんのお話をきいて、議会広報公聴の在り方や、やり方を深めていくうえでも議会 DX ということは非常に有効であると思いました。

この研修を通して、改めて本市議会の進んでいる点・これから向かうべき開かれた議会がより明確に気づくことが出来ました。非常に勉強になる有意義な研修でした。

以上報告いたします。

研修報告書

菊池市議会議員

水上隆光 様

菊池市議会議員

平 直樹

件 名 経済対策を考える議員の勉強会及び農業対策に関する要望書の提出

出張地 東京都

期 間 令和5年1月24日から令和5年1月25日

上記により出張しましたので、その概要をつぎのとおり報告します

初日24日は朝から移動し、お昼から参議院会館にて

中小企業庁経営支援部 技術・経営革新課 課長補佐 栗田 宗樹 氏

中小企業庁経営支援部 小規模企業振興課 課長補佐 笹野 賢一 氏

から「生産性革命推進事業、事業再構築補助金」について

中小企業庁経営支援部 経営支援課 課長補佐 山北 和徳 氏

経済産業省商務・サービスグループ キャッシュレス推進室 和田 和明 氏

から「キャッシュレス決済の導入を含めたIT導入補助金の内容と活用例」について

中小企業庁事業環境部 金融課 係長 岩瀬 琢哉 氏

から「資金繰り支援」について

中小企業庁事業環境部取引課 課長補佐 塚本 浩章 氏

から「価格転嫁対策」について

講義いただき、その後質疑応答を行った。根幹にコロナ禍の影響からのポストコロナへの脱却に向けた補助事業であった。とくに事業再構築については、これまでの事業とは異なった新規事業へ向けたバックアップ施策であった。コロナ禍になりマスクをして手指消毒が当たり前となった新しい生活様式が定着していくことと同様に事業者のこれまでの事業形態が大きく変わらざる得なかったこれからの時代に即した形に変えていってもらえるような施策であった。だが、ある一面では国のほうから積極的に事業者の形式を転換させていきたい気持ちも垣間見えることができた。



日本経済の大多数を占める地方にある中小企業、小規模事業者の思いや現状との乖離も見られ、その点に気づけたことも直接研修をした大きな成果だと思われる。

国が用意した補助施策と生業とされている国民との「デジタル化」という大きな障壁を伴走型というスタイルで克服していかなければならない大きな課題を目の前にして、市の役割としてはその調整役や補完役が必ず必要になってくる。そこを議員として具体的に指摘・提案していくことで今回の研修を市と市民に還元していこうと思う。そのためにはこれから先も鋭意勉強していくことが必要であると感じた。

25日は地元選出の国会議員である皆さんに菊池市の農業分野における課題共有と課題克服のための各種要望を取りまとめた陳情活動を行ってきた。

特に坂本哲志衆議院議員・松村祥史参議院議員の両名には直接お会いして、陳情に加え意見交換会を行ってきた。お二人から市、県のみならず他国の施策や状況などを教えて頂きながら、我々が抱えているポストコロナの農業分野における課題を共有していただき、TSMCの今後の見通し、それに伴う今後の菊池市の優位性や市をどのような位置づけにしていくことが菊池市と菊池市民にとっての今後20年、30年の発展性に繋げていけるかという意見交換会はとても有意義なものでありました。

総じてこの二日間の研修を通して、刻一刻と状況が変わる昨今においてやはり国の動向や政治の動きに注意を払いながら情報収集をし、市のみならず熊本県を一つのチームと捉え日本のみならず世界で戦っていける基礎を作っていくことの必要性を感じた研修でした。

以上報告いたします